

NEWS RELEASE (配信：2022年5月19日) 取材依頼

専門職連携ヘルスアセスメント教育のためのDVD教材を発刊 『チーム医療におけるルーラルヘルスケア 離島でのバーチャル家庭訪問を教材とした専門職連携ヘルスアセスメント教育 — 黒島を訪ねて —』

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

この度、鹿児島大学医学部保健学科では、2020年度から同学科で専門職連携教育の一環として実施している「バーチャル家庭訪問」を題材とするDVD教材を発刊いたしました。

本DVDは、専門職連携ヘルスアセスメント教育において役立てていただく他、韓国語字幕版と英語字幕版がありますので、海外の機関とのオンライン授業やチーム医療実習等に幅広く活用していただくことが期待されます。

ぜひとも、取材・報道いただきますようご案内申し上げます。

概要

医学部保健学科では、4年次にへき地・離島を含めた地域医療機関で看護学専攻・理学療法学専攻・作業療法学専攻の合同によるチーム医療実習を行ってきましたが、2020年度以降、コロナ禍の影響により、従来行ってきた実習が実施困難な状況となりました。そのような状況の下、三島村のご協力を頂き、離島に居住する高齢者宅への家庭訪問の動画を作成し、その動画を教材としてチーム医療実習を実施しました。

チーム医療実習の教材として作成した「バーチャル家庭訪問教材」を他大学等でも広く活用していただけるよう、専門職連携ヘルスアセスメント教育のための教材として2022年2月にDVDを発刊しました。

<本DVD教材の特色>

本教材は、三島村に居住の高齢者宅を看護学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の教員が訪問（2020年9月25日～27日）し、各専攻の専門性を考慮した視点から聴取した情報や健康関連情報を含む動画教材です。バーチャル家庭訪問から得られた情報を基に専門職の視点から対象者の在宅ヘルスケアに関するアセスメント（評価）を行い、各専門職の立場からの支援のあり方や対象者のウェルネスについてチーム医療の視点でディスカッションをするための教材となります。

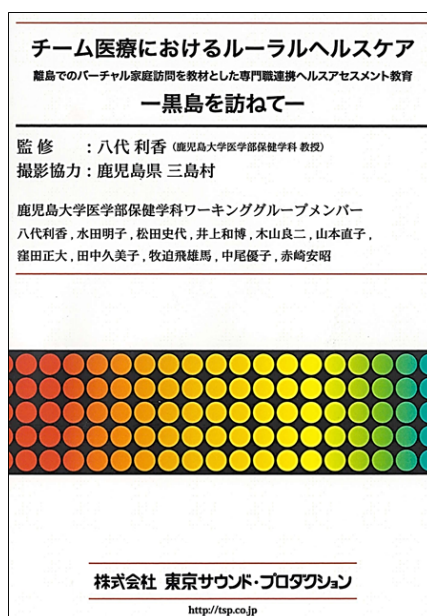
バーチャル家庭訪問教材は、米・韓の学生との合同のオンライン授業のために多言語化を行い、「大学の世界展開力強化事業」の教材としても活用されました。韓国語字幕版と英語字幕版があります。また、チーム医療実習で実際に用いた記録用紙はダウンロードできるようになっています。

今後の展開

今回発刊したDVDは、コロナ禍における専門職連携ヘルスアセスメントに関わる教材、離島における在宅ヘルスケアの教材として、広く活用されることを期待しています。また、多言語化（韓国語、英語）の教材としての活用も可能であり、国内外における島嶼へき地医療のチーム医療教育の発展に役立てていただきたいと考えます。



教材作成のためのバーチャル家庭訪問の撮影
(モデル：三島村在住の80代男性)



監修：八代利香（鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻・教授）
 撮影協力：鹿児島県 三島村
 鹿児島大学医学部保健学科ワーキンググループメンバー
 八代利香、水田明子、松田史代、井上和博、木山良二、山本直子、
 窪田正大、田中久美子、牧迫飛雄馬、中尾優子、赤崎安昭

株式会社 東京サウンド・プロダクション
<http://tsp.co.jp>

問い合わせ先

< DVD の内容に関する事 >

鹿児島大学医学部保健学科 看護学専攻 八代 利香 教授

TEL 099-275-6755

鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 牧迫 飛雄馬 教授

TEL 099-275-6775

< 報道・広報に関する事 >

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

医歯学総合研究科等事務部 総務課 総務係

TEL 099-275-6015

E-mail: isgsoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

※取材をご希望の際は、新型コロナウイルス感染症予防対策の実施をお願いいたします。